

ぼううちょうていは、あっても不安、なくても不安

つなみたいさく かいがんぞい たか ていぼう つく
津波対策として、海岸沿いに高い堤防が作られています。しかし、これで

かんぜん つなみ ぼうし かんが ひなん
完全に津波が防止できると考えていると、避難することをわすれてしまうこ

とになります。あくまでも、一時的なものと思っ**て**備えをしておきましょう。

や屋のせいせいとん、これも防**ぼう**災

じしん お おも たお
地震があると、モノが落ちてきたり重いものが倒れてきたりします。できるだ

け上に物をおかない、重いものはすべりどめをする、ねる部屋はリッパなどを

おいて地震の時にけがをしないようにすることが大切です。

どう校時、災**さい**害を想定して安全確認

つうがくろ お たお
いつもの通学路に、ブロックべいや落ちてくるもの、倒れそうなものはない

ですか。道幅がせまいところでは、地震の時には通れないことがあったりもし

ます。地震があったあとしばらくしてから、被害がでることもあります。

ちひょう表は常に**へんか**する、これが災**さい**害になるひとつ

ちひょう へんか じしん おおあめ ふ
地表はつねに変化しやすいもので、地震や大雨が降るとがけがくずれたり、

おおあめ なが だ ばあい きゅう お
大雨がまたたくまに流れ出したりします。たいていの場合、急に起きること

が多いので、まえぶれのようなものに気づいたら、すぐに避難しましょう。